住民が安心して住み続けられるための地域医療を!

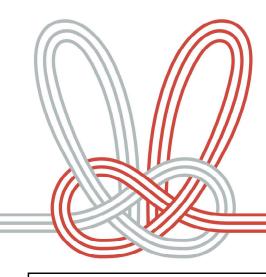


地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会





発行/地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会事務局 〒983-0047 仙台市宮城野区銀杏町39-18 (民医労内) Tel 022-782-0633/FAX 022-782-0634



謹賀新年

皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます 本年もよろしくお願いいたします

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

2022年12月26日

日本労働組合総連合会宮城県連合会 (連合宮城) 全日本自治団体労働組合宮城県本部 (自治労宮城県本部) 公立刈田綜合病院職員組合

<仙南地域医療の維持と公立刈田綜合病院職員の処遇確保に向けた要請書>

- 1. 刈田病院が、2023年4月以降も宮城県が進める地域医療構想に基づくみやぎ県南中核病院との連携プランに基づき、仙南地域医療の発展に寄与できるよう、組合の承継自治体である白石市に対して、医師や医療従事者の確保に向けて、適切な助言を行うこと。
- 2. 刈田病院の指定管理先である仁誠会が提示した賃金と現給との差が開きすぎており、職員に不安・動揺が広がっています。このままでは、多くの職員が離職を選択する可能性があることから、組合及び構成自治体に対し、政策医療を担うにふさわしい、現在の賃金水準を基本とした賃金体系・労働条件を当面の間維持するよう組合及び白石市に対して適切な助言を行うこと。

宮城県地域医療構想推進セミナー

宮城県では、地域の医療提供体制の将来の目指すべき姿である「宮城県地域医療構想」を策定し、将来の医療需要を見据えた病床機能の分化・連携を推進しているところですが、県内全ての医療圏で回復期病床は大幅に不足するため、回復期の充実を図り、急性期から在宅医療・介護に至るまでの一連のサービスが切れ目なく適切に提供される体制を構築する必要があります。

また,公立病院において,来年度までの策定が求められている公立病院経営強化プランでは, 地域で果たすべき役割を明確化・最適化していく必要があります。

こうした地域医療の推進に向けて、この度、地域医療構想や将来の医療需要を踏まえた回復期機能への転換の必要性等への理解を深めていただくため、各医療機関等を対象としたセミナーを 開催することといたしましたので、多くの皆様のご視聴をお待ちしております。

開催日時

令和5年1月27日(金)

16:00~18:00

対象

- 宮城県内の医療関係者
- ●宮城県内の公立病院設置自治体の職員等

構成 内容

〈第1部〉

演題 データから見る宮城県の回復期病床の確保に向けた 地域医療の現状について(60分)

講師

総務省 経営・財務マネジメント強化事業アドバイザー株式会社日本経営 部長 角谷 哲 氏



〈第2部〉

演題 回復期病床を運営する地域密着型病院の運営手法(40分)

講師 一般社団法人地域包括ケア病棟協会 理事

社会医療法人石川記念会 HITO病院

理事長 石川 賀代 氏

〈第3部〉

説明 公立病院経営強化プラン策定の現状について(15分) 宮城県総務部市町村課

※県内公立病院を対象とした説明を行います

【主催】 宮城県

(お問合せ先)

宮城県地域医療構想推進セミナー事務局(株式会社日本経営) Tel:0120-65-1162 Mail:seminar@nkgr.co.jp

申し込みQRコード



(注/報道記事転載の為、組織内資料扱)

宮城・公立刈田総合病院

公設民営化を前に労働組合が職員の雇用を守るため県に助言するよう 求める

https://youtu.be/Ft0Wdbt4O3k

2022年12月26日 khb東日本放送



宮城県白石市の公立刈田総合病院の職員らでつくる労働組合は、2023年4月の公設民営化を前に、県が白石市などに対し職員らの雇用を守るための助言などをするよう要請しました。

26日、病院の職員組合など労働組合の関係者 らが県庁を訪れ、池田敬之副知事に要請書を手 渡しました。

公立刈田総合病院は、2023年4月からは白石

市単独の病院として公設民営化し、奈良市の医療法人が運営する予定です。

要請書で組合側は、新しい病院の診療科や医師らの配置がいまだに明らかになっていない、と指摘し、医療法人が示す賃金と現在の賃金に差があり、多くの職員が離職する可能性があるとし、当面の間、現在の賃金水準を維持することなどを白石市などに対して県が助言するよう求めています。

これに対して県側は「状況を把握し県として必要な助言は行っていきたい」としました。

来年4月から公設民営化「刈田病院」

職員組合が県に要望 "医療スタッフ確保に向けて助言を、

https://www.mmt-tv.co.jp/nnn/news1055108a57bdgrs5b01.html

2022年12月26日 ミヤギテレビ



公立刈田総合病院職員組合のメンバーらが県庁を訪れ、宮城県の池田副知事に要望書を提出した。

白石市の公立刈田総合病院は赤字経営解消のため、来年4月から奈良市の医療法人が指定管理を行うことになっている。しかし、職員組合によると、現段階で4月からの診療科や医療スタッフの配置が示されていない。このままでは患者や職員の生活に支障をきたす恐れがあるとして、職員組合らは県が白石市などに対して「スタッフの確保

や現状の賃金体系を当面維持するよう助言すること」を求めた。

<インタビュー>

公立刈田総合病院職員組合 真鍋努 執行委員長

「医療の維持、職員の来年以降の安心感が必要ですので、それをお願いしたい」

要望を受け、池田副知事は「不安が解消されるよう、できることはしっかりやっていきたい」としている。

職員処遇確保へ助言を

対田病院連合宮城など県に要請

町)との連携プランに基づの の公設民営化を巡り、連 会宮城など3者は26日、仙 南地域の医療維持と職員の 南地域の医療維持と職員の 本方宿両町でつくる運営組 と刈田病院職員組合。①み よう県に要請した。 他の2者は自治労県本部 他の2者は自治労県本部 がぎ県南中核病院(大河原 と刈田病院職員組合。①み よう県に要請した。 を がぎ県南中核病院(大河原 を がぎ県南中核病院(大河原 を ががある。 を ががいる連営組 ががいる。 を ががいる。 を などに適切な助言をする ががいる。 を ががいる。 ががいる。 を ががいる。 を ががいる。 を ががいる。 ががいる。 ががいる。 を ががいる。 を ががいる。 がりがいる。 ががいる。 ががい。 ががいる。 ががい。 ががいる。 が

者の配置は伝えられていな した仁誠会の月額の基本賃 金と現行の月額賃金を比べ 金と現行の月額賃金を比べ ると、看護師や検査技師ら は最大で約15万円下がる可 能性があるという。

事は「切実な要請と受け止 県庁で池田敬之副知事に 要請書を手渡した刈田病院 要請書を手渡した刈田病院 要を抱えながら、地域医療 安を抱えながら、地域医療 安を抱えながら、地域医療 安を抱えながら、地域医療 を守ろうと職務に従事して いる」と訴えた。池田副知 いる」と訴えた。池田副知 いる」と訴えた。池田副知

す真鍋執行委員長(左端)ら池田副知事(右)に要請書を渡



意向を示した。 意向を示した。 意向を示した。 意向を示した。 村井知事「反対の声があっても大勢の県民のため必要なら逡巡せず前 に進みたい|仕事始めで訓示

https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tbc/259735?display=1

2023年1月4日 tbc東北放送



宮城県庁では、村井知事が仕事始めの挨拶を行い、「賛否が分かれることは県民の顔を思い浮かべて判断するように」と述べました。

村井知事「私は例年通り、仕事始めからエンジン全開で走りたいと考えている|

村井知事は、幹部職員250人を前にした仕事始めの挨拶で「エンジン全開で走る」と宣言しました。そして、時に賛否が世論を二分するような事

業や政治判断を打ち出す自らの政治姿勢や信念を踏まえ、職員をこう鼓舞しました。

村井知事「意見が分かれ困難な対応を迫られた時は、常に特定の誰かではなく、その他大勢の県民の顔を思い浮かべて判断してください。私は反対の声があっても、大勢の県民のために必要だと思うのならば、逡巡せずに前に進みたいと考えている」

このほか、村井知事は仙台医療圏の4病院の統合・再編構想や再エネ施設への新税などにも力を入れていくと述べました。

村井知事「まだ5合目と6合目を行ったり来たり」 "4病院再編構想"は道半ば

https://newsdig.tbs.co.jp/articles/tbc/260442?display=1

2023年1月4日 tbc東北放送



宮城県が打ち出した4病院の再編構想について 村井知事は4日、「5合目と6合目を行ったり来たり している」と述べ、基本合意を目指す3月末まで3 か月を切るなか、構想が道半ばとの見方を示しま した。

村井知事「今の段階で、まだ5合目と6合目を行ったり来たりくらいでしょうかね。(病院側が)統合する、合築することによるメリット、デメリットというものを慎重に判断しているところし

村井知事は記者会見で、4病院の再編構想についてこのように表現し、再編が順調に進んでいないとの考えを示唆しました。県の構想は、仙台赤十字病院と県立がんセンターを統合して名取市に。東北労災病院と県立精神医療センターを併設して富谷市に移転させるものです。

特に精神医療センターに関係する患者や医療従事者から構想の妥当性を問う声が高まっています。

村井知事は、センターが富谷市に移転しても「患者をケアできる態勢を構築していかなければならない」とし、名取市の拠点病院に精神医療センターのサテライト機能を持たせることなども含めて検討しているとしました。県は今年3月末までの基本合意を目指しています。

村井知事に問う「宮城県政の課題」 2023年の展望は? 単独インタビュー

https://youtu.be/feElChf5Km0

2023年1月4日 仙台放送



宮城では今年、4病院の再編や福島第一原発処理水の海洋放出の問題など、多くの課題が節目を迎えます。村井知事に今年の県政の展望を聞きました。

宮城県 村井 知事

「明けましておめでとうございます。今年も宜 しくお願い致します|

就任18年目を迎えた村井知事。去年は急激な人口減少社会を見据え、その年の意気込みを表す漢字として育てるという意味の「育」を掲げました。去年7月には実の孫と、県が進める「どこでも授乳室プロジェクト」を視察。今年からは全国で初めて県職員の「孫休暇」を導入するなど課題に取り組みました。

宮城県 村井 知事

「子育ては親の責任ではなく社会全体の責任だと思っていますので、社会全体で子供を育てやすい環境を作りたいということです。これはすぐに効果が出るものではありませんので、5年、10年とずっと続けることによって、そしてどんどん広げていくことによって、宮城に移り住めば子育てしやすいよと言ってもらえる環境にしていきたいなと思う」

宮城県は今年も多くの課題を抱えています。

『4病院の再編』

その1つが4病院の再編です。これは、太白区の仙台赤十字病院と名取市の県立がんセンターを統合して名取市に、仙台市青葉区の東北労災病院と名取市の県立精神医療センターを併設し、富谷市に移転する県の構想です。

宮城県 村井 知事

「今いる人たちにとっては確かに不便な面は一部あるかもしれませんけれども、宮城県全体にとって、それがメリットがあるかデメリットがあるかをまず考えて、その上で不便な人たち、困る人たちをどうケアをしていくのかを考える、これが優先順位として必要だと思うんですね」

県は経営面のほかにも仙台に集中する救急医療の格差是正や県南地域の周産期医療の充実を理由と していますが、医療関係者や住民からは反対の声も上がっています。

宮城県 村井 知事

「この問題は非常に大きな問題なので、通常はもう少し後で発表するんですけど、早め早めに発表させていただいております。決まりましたらなるべく早め早めに、しっかりと仙台市であったり周辺自治体であったり、関係者であったり、いろんな人にしっかりとお話したうえで、マスコミにも公表させていただきたい」

年度内に病院側との「基本合意」を目指す村井知事。より丁寧な説明が求められています。

…「全国初」の取り組みは、今年も村井県政を読み解くキーワードとなりそうです。

村井宮城県知事「交」郡仙台市長「発」2023年にかける思いを表す https://youtu.be/331cGDzW57k

2023年1月4日 khb東日本放送



多くの官公庁や企業では、4日が仕事始めです。 村井宮城県知事は2023年にかける思いを交流の交 「交わる」という漢字で表しました。

村井知事「引き続き新型コロナウイルス感染症への対応や、これからの人口減少社会を見据えた取り組みなど富県躍進に向けてやるべきことがたくさんございます」

村井知事は年頭のあいさつで、幹部職員約250人を前にアフターコロナを見据えて観光客回復への備えなどを進め、地域の発展につなげていきたいと述べました。

その後の記者会見で、2023年の宮城県政を表す漢字を聞かれると、村井知事は交流の交「交わる」という漢字を示しました。

村井知事「私が心を込めて書きました。2023年の1字は交わる、という字。今、コロナ禍で大変な 状況が続いておりますけれども、2023年はおそらくコロナも落ちついて多くの人がいろんな場所で 交わる、交流を持てる、そういう年にしてまいりたい」

2023年に力を入れる政策としては、新型コロナと物価高騰対策、震災復興の3つを大きな柱にするとしました。

懸案となっている仙台医療圏の4病院再編については、次のように述べました。

村井知事「病院の再編、これも2023年度中に一定の方向性が出れば、それに向けて住民の理解を得られるようなことをしていかなくてはいけない|

知事年頭会見

編「5~6

県が主導する仙台医療圏

4病院の再編構想で、本年 度内の基本合意を目指す関 係機関との協議の現状につ の年頭記者会見で「まだ5 たり」と例えた。「うまく いくときには一気にいくと 思うし、うまくいかない場 たり」と例えた。「うまく おり強く交渉している」と 重ねて意欲を示した。 種想は県立がんセンター を 構想は県立がんセンター る

病院(仙台市太白区)を統 合して名取市に、県立精神 合して名取市に、県立精神 を療センター(名取市)と 東北労災病院(青葉区)を 充築して富谷市にそれぞ れ新病院を建設する。村井 れ新病院を建設する。村井 かりともメリット、デメリ ットを慎重に検討、判断し ているところだ」と説明し た。

巡り、知事は昨年12月の県る精神疾患患者への対応を移転により通院が難しくな

(名取市) と仙台赤十字

議会一般質問で、がんセン 中で考えていく趣旨の答弁 をした。

答弁の真意に関し、知事は「精神医療センターのサ は「精神医療センターのサ テライト機能(設置)や今 の患者が富谷に通院しても らえるような移動手段な ど、幅広い選択肢の中で考 ど、幅広い選択肢の中で考 さたいという意味。どうな をかけでは決してない」と たわけでは決してない」と な調した。

法人医師ら加入 常勤15人体制に 号・刈田病院 自石市の公立刈田総合病 自石市の公立刈田総合病院の公設民営化で、今年4 院の公設民営化で、今年4 月から病院を運営する医療 法人「仁誠会」の内科医1 人が4日、常勤医として加 人が4日、常勤医として加 りった。今村豪理事長も今 村深用の医師1人を含め常 新採用の医師1人を含め常

る見通し。 合によると、医師や看護師 る市立病院に移行する。組 は仁誠会を指定管理者とす 町でつくる病院組合は3月 ほしい」と述べた。 地域医療発展に力を貸して 入の医師を前に「新生刈田 理者の山田裕一市長は新加 始め式があり、病院組合管 の15人体制となる。 の新体制は2月までに固ま 末で解散し、4月1日から 病院が誕生する重要な年。 院内で辞令交付式と仕事 市と蔵王、七ケ宿の3市